

大進平時繼兼

權大進藤資定兼

同高經兼

少進平時基

權少進藤

大屬安倍資高

入夜節會始云々、其後諸卿率參本宮、夜未曙及事之終頭云々、

〔五代帝王物語〕主上○後深草は建長五年正月三日御元服あり、女御は大宮院○後嵯峨の御妹子○公參

らせ給ふ、もとは大宮院に候はせ給て、御熊野詣の時も御參ありしを、圓明寺殿○藤原を聲にと

るべしとて日限まで定りたりけるを、院○後嵯峨の御はからひにて俄に參らせ給へば、引かへ目出

度事にてぞ有ける、康元元年十一月に女御に參りて、同二年二月に立后あり、御年ははるかの御

あねにてぞおはします、

〔五代帝王物語〕正嘉二年八月七日、院の第六の皇子、恒仁親王○龜山、春宮にたさせ給ふ、御年十歲、是

も大宮院の御腹なり、正元元年八月廿六日御元服、同十一月廿六日、春宮位につかせ給ふ、御年十

一、十二月廿八日即位の儀あり、○中略新帝の女御には、右大臣○實雄公○山の女○京極院○文應元年十一

月廿一日御禊の女御代に供奉して、同十二月廿二日入内、御年十六なり、同二年二月立后ありて

候給ふ、

〔仁部記〕弘長元年八月廿日庚戌、今日女御○藤原有立后○龜山事、節會可參仕之由、先日爲藏人次

官奉行、被仰下之間、雖申領狀、此間痾病所勞、更發之間不出仕、傳聞本宮事、藏人佐賴親奉行云々、宮

司除目

大夫源雅忠

權大夫藤隆顯

亮藤隆保

權亮藤公孝

大進藤頼親

權大進同高朝

同俊定

少進平資兼

權少進藤定世

大屬安倍資國

少屬中原職成

少屬中原國民

前中宮○藤原信子、今夜即令轉皇后宮給云云、宮司○口次第被轉上之由、被宣下之、不被載除目之由、奉